

目標達成計画

事業所名 グループホームかわごえ

作成日 : 平成 26 年 12 月 26 日

評価結果

市町提出日 : 平成 26 年 12 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	足の力が弱くなると自力で立てなくなり、入浴も難しくなると思われるので、1日中車、イスではなく、食事時には食卓椅子に必ず座るなど、時を捉えて移乗の機会を増やし、足を使う生活の工夫を期待する。	食事時には、車イスから食卓椅子に移って食事を摂ることを毎食実行する。	下肢筋力維持のためにも、訪問調査日の翌日から食事時には車イスから食卓椅子に移乗の介助し食事を摂って頂いている。	即日
2	11	口頭で提案するのではなく、職員で話し合い、グループホームの運営などの年間計画に織り込んだ企画書を作成し、理事から理事長へと上げることにより、職員の意見がより反映されることを期待する。	来年度の年間計画を検討して年間計画書を作成し、理事長に行事参加の承認を得る。	利用者に楽しんでもらいたい行事を職員間で話し合っ、年間行事計画書を作成する。	4か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。